

第 107 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 27 年 8 月 23 日 (日) 13 時 30 分～15 時 00 分

2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内

3. 委員出席 委員総数 5 名

出席委員の氏名 児玉 昭義 大橋 民男 堂園 孝美
木村 敏彦

欠席委員の氏名 島田 貴司 小島 隆雄

放送事業者側出席 須藤 一郎

4. 議題

1. 番組編成に関して

2. その他

5. 議事の概要 議題に対する答申

6. 審議の内容

議 長：須藤 一郎、出欠席者の確認。

委 員 長：児玉 昭義、本日の審議事項の発議を提案して会議に入った。

会社側委員：「津波がきたら高いところへ逃げるプロジェクト」の告知を開始しました。地元有志による防災の日に向けた企画です。

委 員：鎌倉は過去にも津波による被害の経験がありますのでいざという時への心構えは大事である。津波がきたら高台への避難を合い言葉にすべきだと思う。

会社側委員：9月27日に「大船 to 大船渡」が開催されます。岩手県復興支援産業祭りですが、大船祭りの経験をベースに、イベントの告知や当日の録音中継を含めて取り組みます。

委 員：大船祭りの生中継は好評でした。イベントの規模にもよるでしょうが可能な範囲で生中継も出来れば良いと思う。

会社側委員：マンパワーとして主催者にもお手伝いを頂き要望に沿いたいと考えております。

会社側委員：今泉台自治会との交流で「タウンサポート鎌倉」をはじめとして放送番組への出演やイベントの告知などに取り組みます。

委 員：地域に密着して地域に支えられているコミュニティ放送として最も大切な部分です。地域の方々の応援も得ながら街のアクティビティに参画してください。

会社側委員：地域の皆様とともに地域密着の情報発信基地として成長していきたい。番組審議委員のご協力もお願いします。

委 員 長：本日は有り難うございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日
ホームページにて公開

9. その他の参考事項 な し

以 上